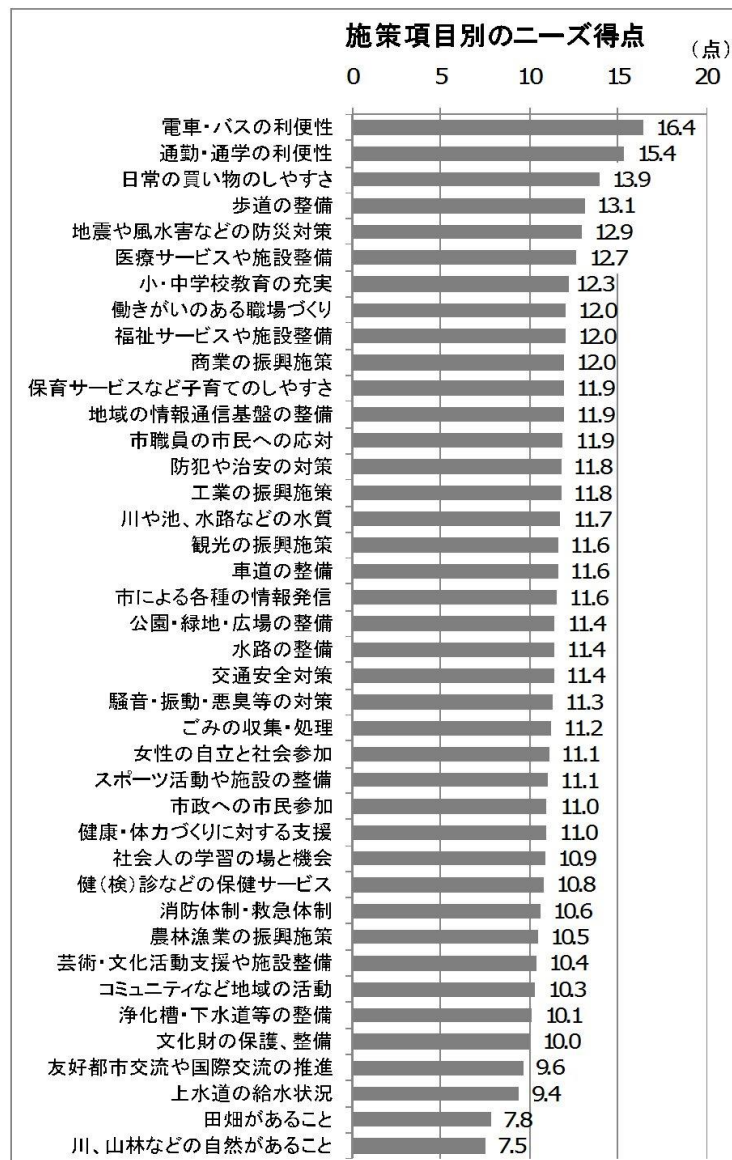


○前記の満足度と重要度から、次の方法で「ニーズ得点」を算出し、各施策に対する市民のニーズについて分析した。この算出方法では、重要度が高く、満足していない項目ほど、ニーズ得点が高くなる設定としている。

満足度の得点		重要度の得点	
満足	5点	重要	5点
まあ満足	4点	やや重要	4点
どちらともいえない	3点	どちらともいえない	3点
やや不満	2点	あまり重要でない	2点
不満	1点	重要でない	1点

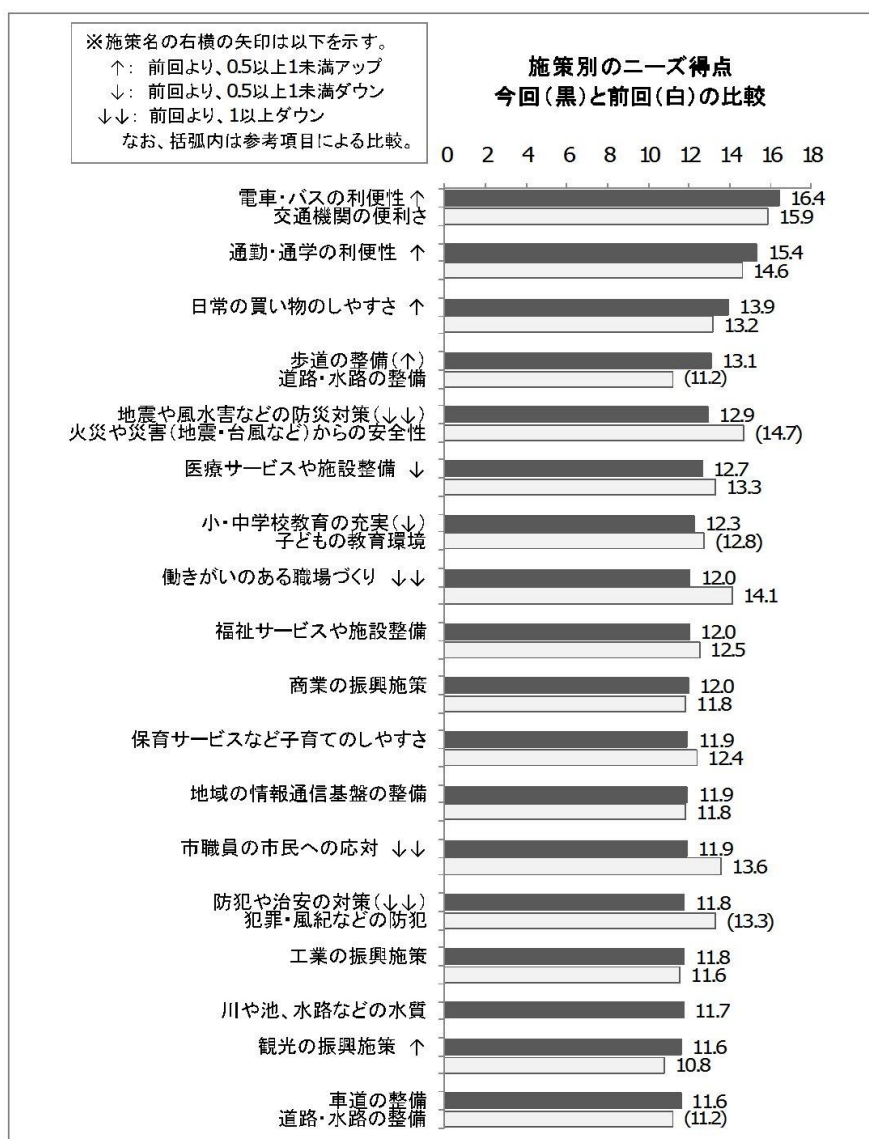
【算出方法】

$$\text{ニーズ得点} = \text{重要度の得点} \times (6 - \text{満足度の得点})$$



○前記のニーズ得点を、前回の調査時と比較し、項目としてほぼ対応できるものについて図化した（下図と次ページの続きの図）。ニーズ得点が前回よりアップした主な項目は、「電車・バスの利便性」「通勤・通学の利便性」「日常の買い物のしやすさ」「観光の振興施策」「公園・緑地・広場の整備」「女性の自立と社会参加」などである。

○一方、ニーズ得点がダウンした項目として、「働きがいのある職場づくり」「市職員の市民への対応」「防犯や治安の対策」「浄化槽・下水道等の整備」などがある。

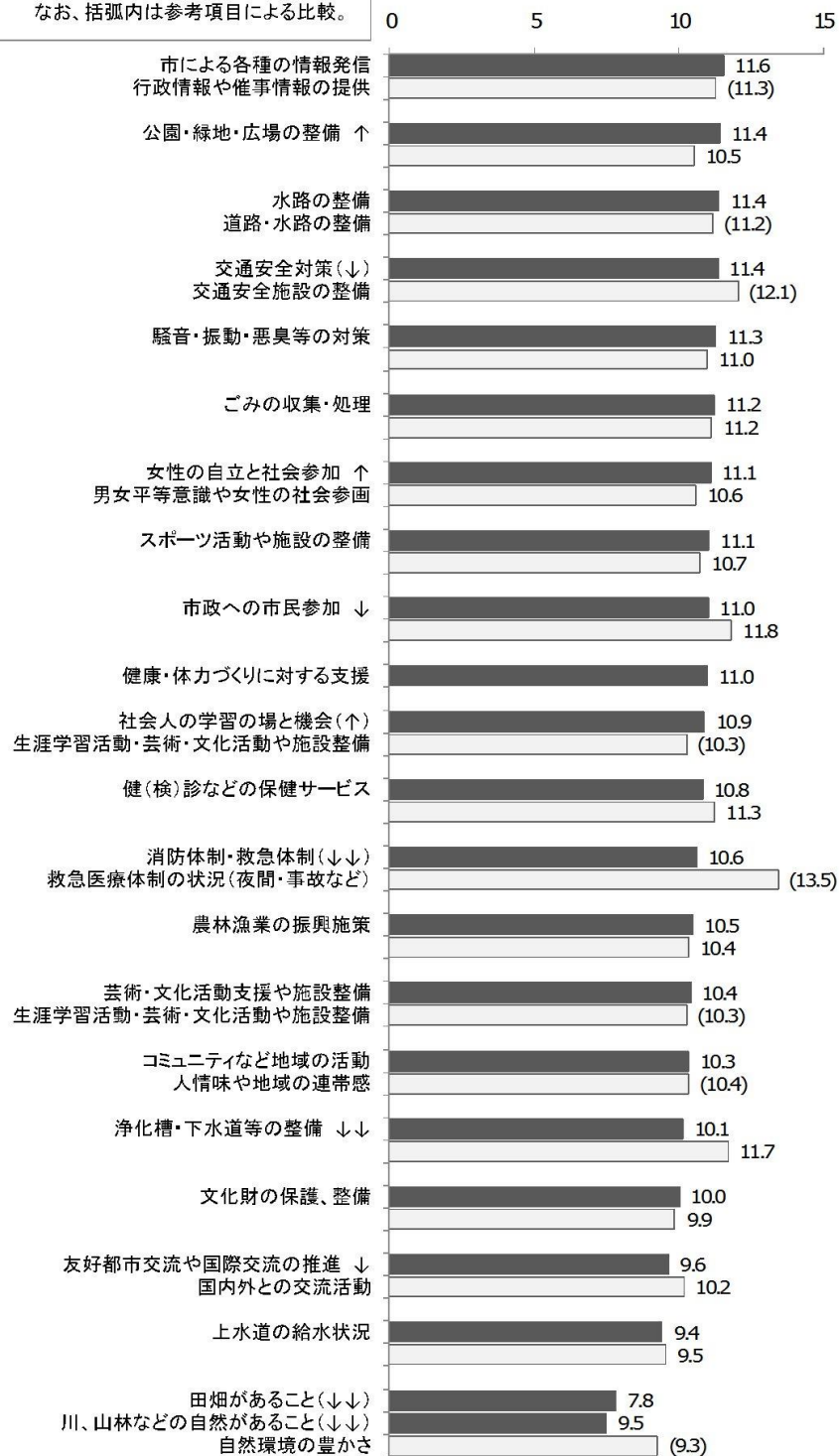


（次ページに続く）

(前ページからの続き)

※施策名の右横の矢印は以下を示す。
 ↑: 前回より、0.5以上1未満アップ
 ↓: 前回より、0.5以上1未満ダウン
 ↓↓: 前回より、1以上ダウン
 なお、括弧内は参考項目による比較。

施策別のニーズ得点
 今回(黒)と前回(白)の比較



4) 将来のまちづくりについて（問 12～問 25）

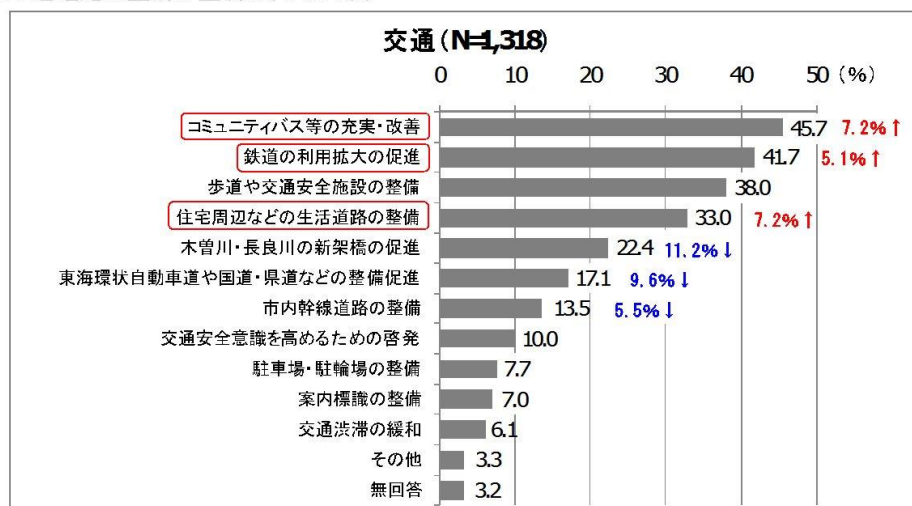
今後どのようなことに力を入れる必要があると思いますか。（回答は3つ以内の複数回答）

図中、**赤枠**で囲った項目は、前回の調査時より割合が高くなったもの、あるいは今回新たに加えた項目で割合が高いものである。**二重の赤線枠** は、前回よりも割合が10%以上高くなったものであり、**一重の赤線枠** は、前回よりも割合が5.0%～10%未満高まったもの、あるいは今回新たに加えた項目で割合が高いものである。各設問で上位にある施策は重要なものといえるが、赤枠で囲った施策は最近、重視されていると考えられるものである（赤字で各棒の右端に↑）。

一方、前回よりも5.0%以上割合が低下したものである（青字で各棒の右端に↓）。

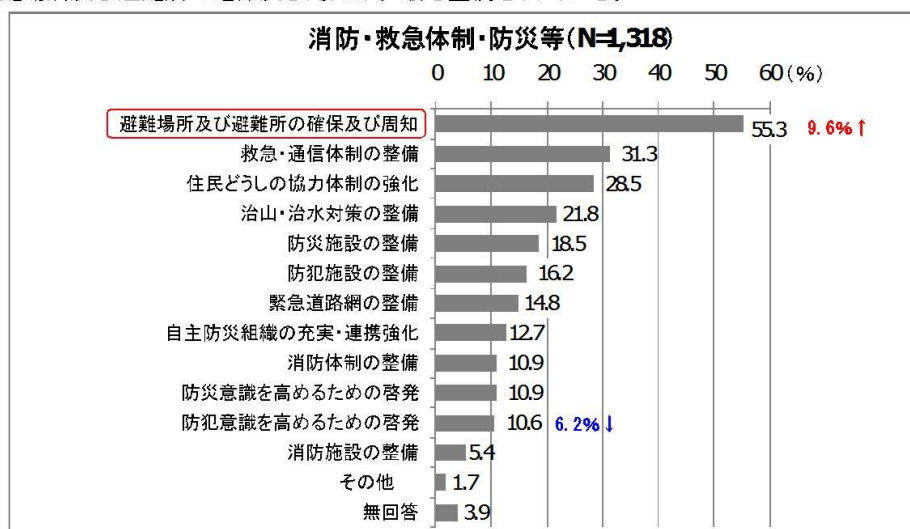
問 12 交通に関する施策

○コミュニティバス等の充実・改善、鉄道の利用拡大の促進、歩道や交通安全施設の整備、住宅周辺などの生活道路の整備が重視されている。



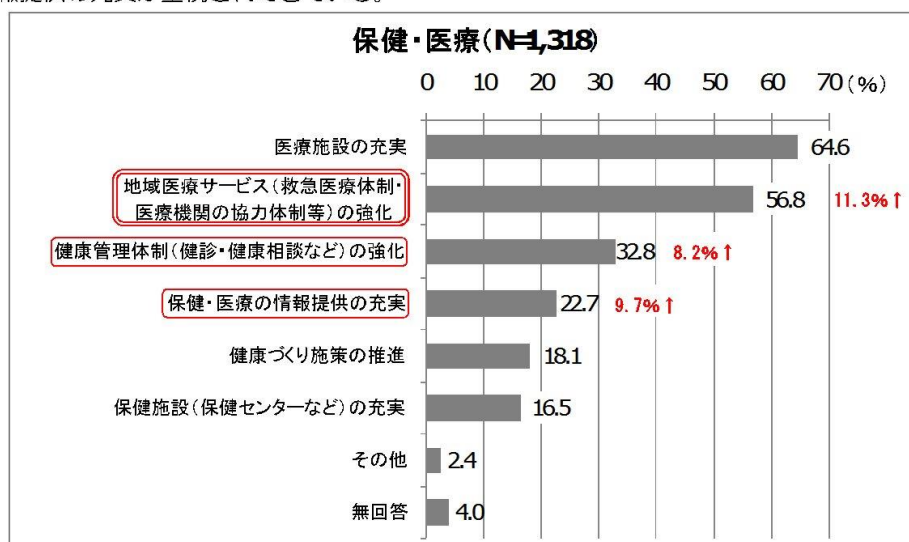
問 13 消防・救急体制、防災等に関する施策

○避難場所及び避難所の確保及び周知が、最も重視されている。



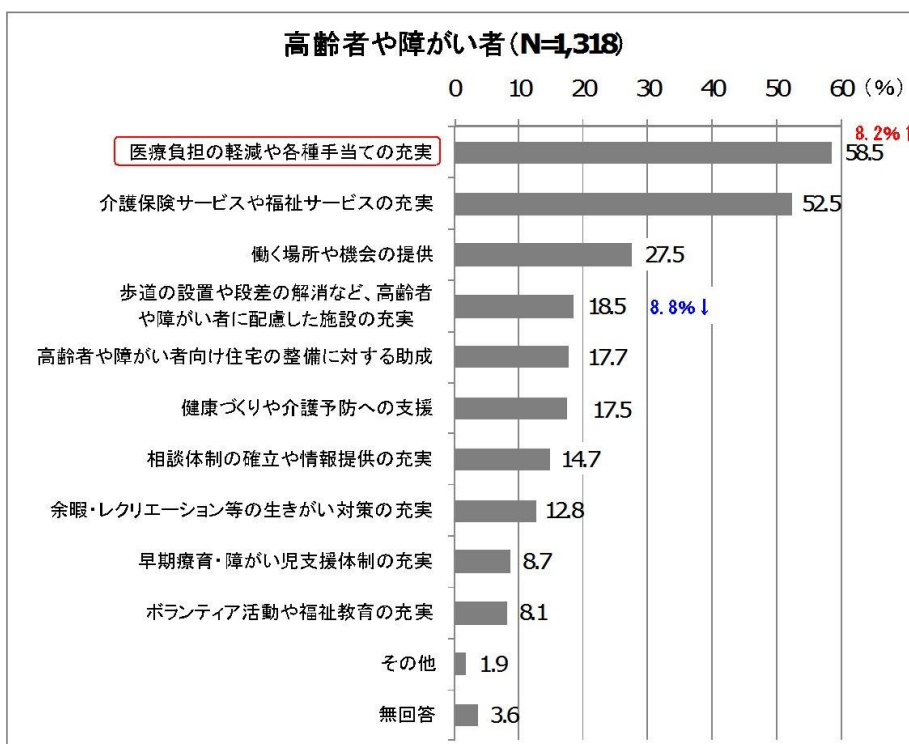
問 14 保健・医療に関する施策

○医療施設の充実はもちろんのこととして、最近は地域医療サービスや健康管理体制の強化、保健・医療の情報提供の充実が重視されてきている。



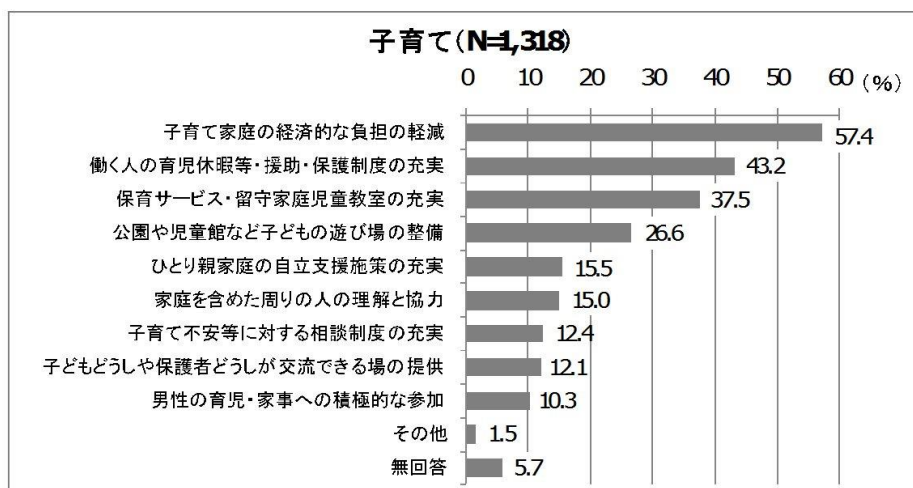
問 15 高齢者や障がい者に関する施策

○医療負担の軽減や各種手当の充実、介護保険サービスや福祉サービスの充実などが重視されている。



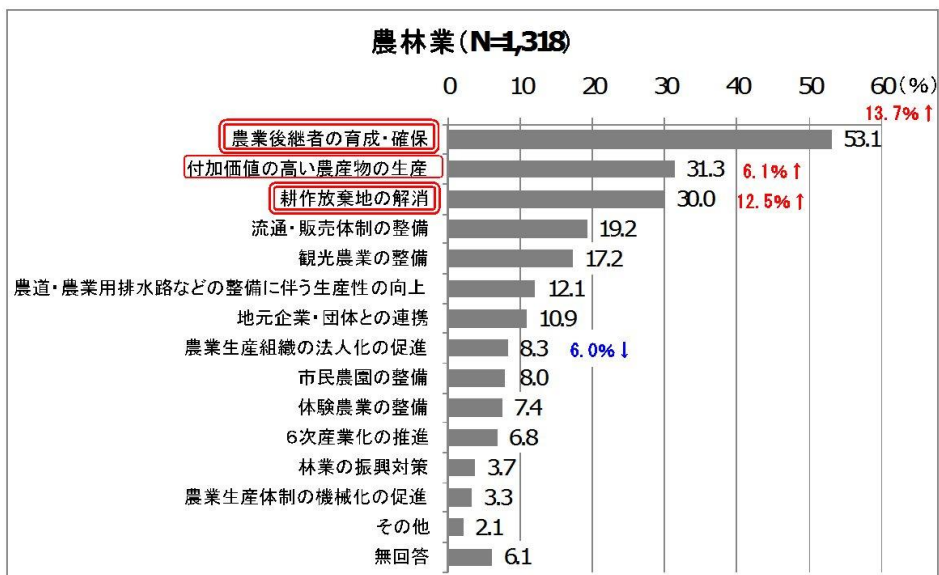
問 16 子育てに関する施策

○子育て家庭の経済的な負担の軽減、働く人の育児休暇等・援助・保護制度の充実などが重視されている。



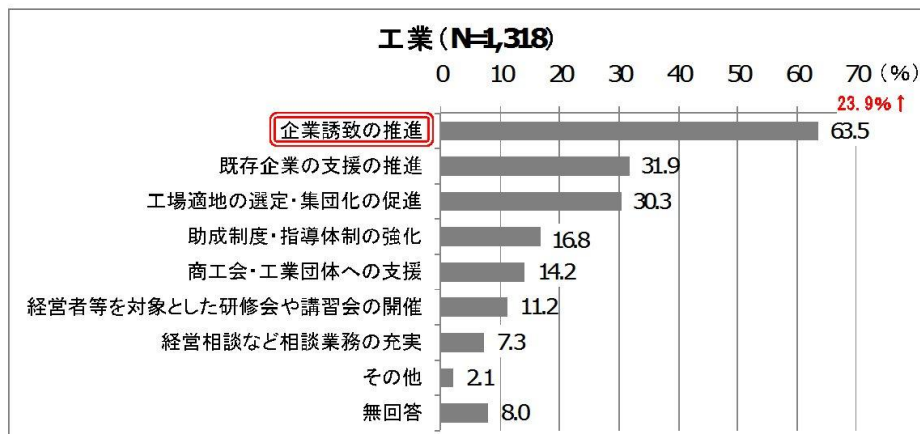
問 17 農林業に関する施策

○農業後継者の育成・確保、付加価値の高い農産物の生産、耕作放棄地の解消が非常に重視されてきている。



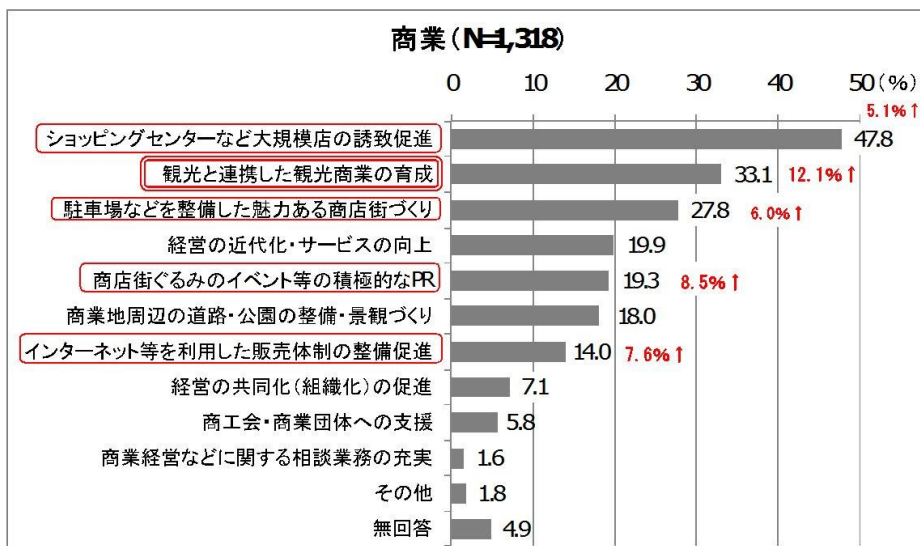
問 18 工業に関する施策

○企業誘致の推進が非常に重視されてきている。



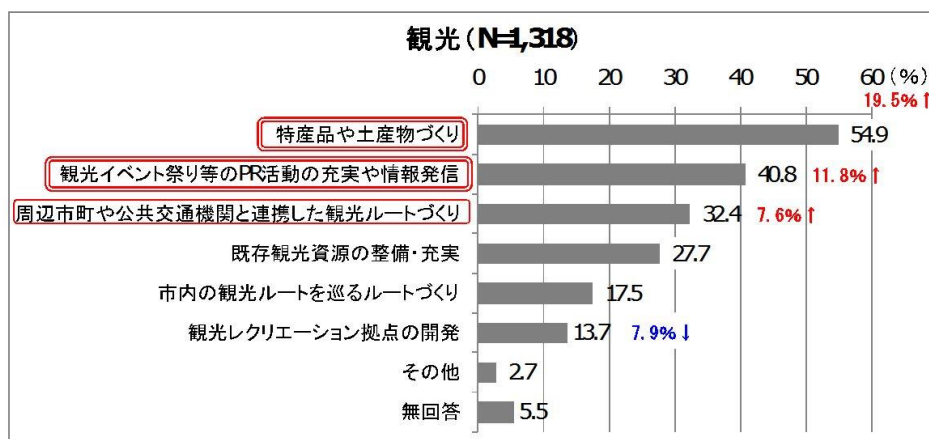
問 19 商業に関する施策

○前回時から回答割合が高まっている項目が多く、特に観光と連携した観光商業の育成や、商店街ぐるみのイベント等の積極的なPRなどが最近重視されてきている。



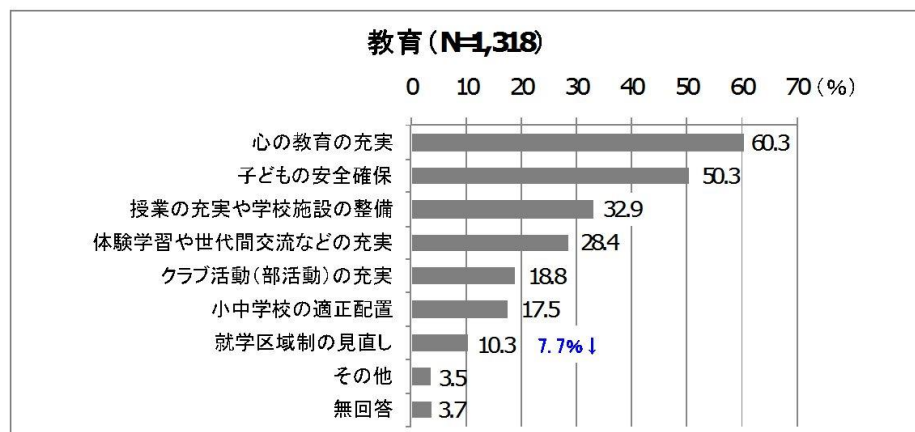
問 20 観光に関する施策

○特産品や土産物づくり、観光イベント祭り等のPR活動の充実や情報発信、周辺市町や公共交通機関と連携した観光ルートづくりなどの重要性が認識されてきている。



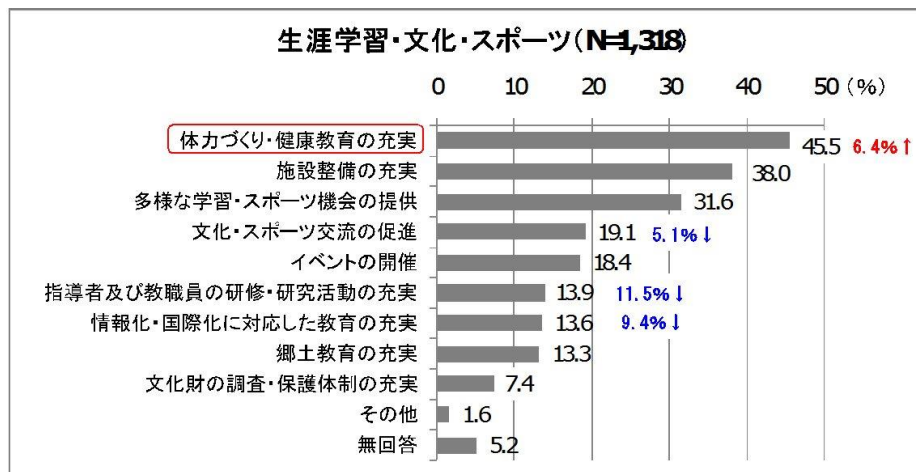
問 21 教育に関する施策

○心の教育の充実や、子どもの安全確保などが重視されている。



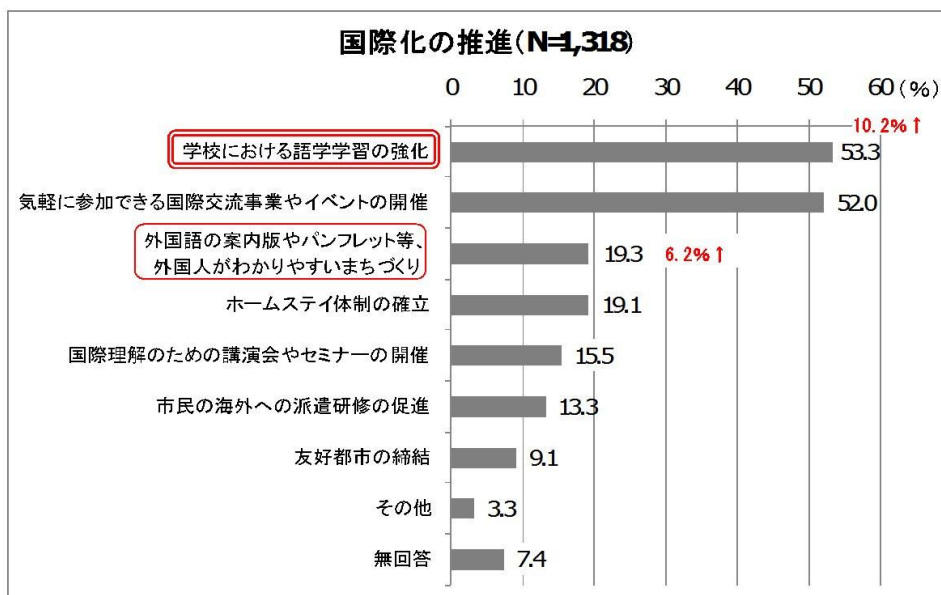
問 22 生涯学習・文化・スポーツに関する施策

○体力づくり・健康教育の充実、施設整備の充実など、ソフト・ハード両面の整備が期待されている。



問 23 国際化の推進に関する施策

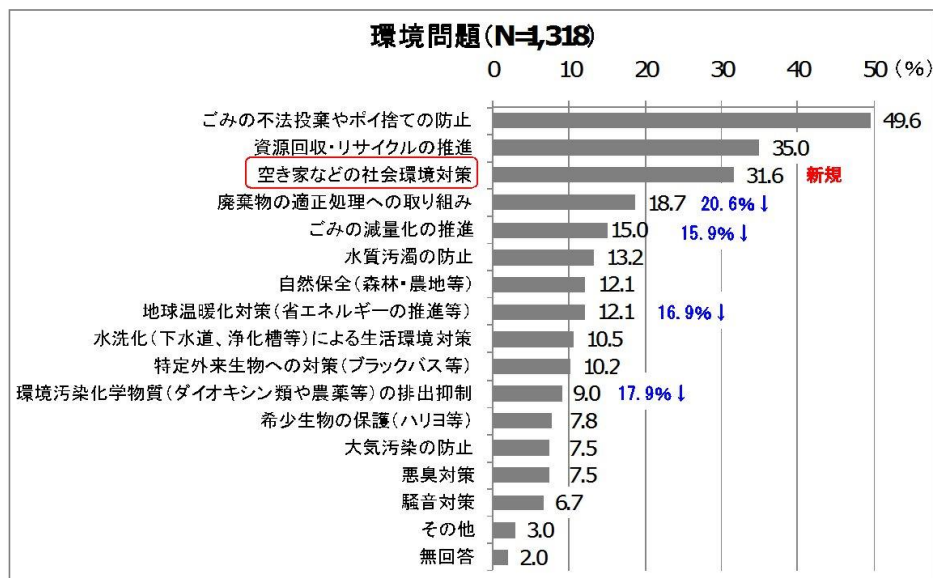
○学校における語学学習の強化、気軽に参加できる国際交流事業やイベントの開催など、国際交流のためのスキル向上や機会増大などが期待されている。



問 24 環境問題に関する施策

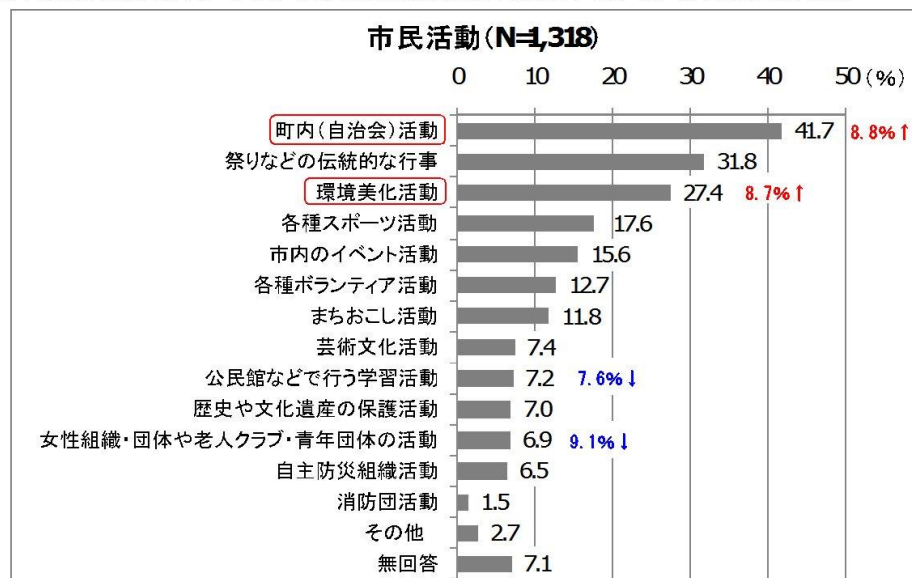
○ごみの不法投棄やポイ捨ての防止、資源回収・リサイクルの推進は、従来通り重視されている。また、空き家などの社会環境対策は最近の重要な課題と認識されている。

○ごみの処理や減量については、前回調査時より改善されたとの意識があると考えられる。



問 25 市民活動への参加意向

○町内(自治会)活動、祭りなどの伝統的な行事、環境美化活動などが重視されている。最近は、町内活動や環境美化活動といった、身近な地域活動が重視されてきていると考えられる。





海津市市民意識調査分析結果報告書

平成 28 年 2 月

海津市総務部企画財政課

〒503-0695 海津市海津町高須 515 番地

TEL : 0584-53-1111 (代表)

<http://www.city.kaizu.lg.jp/>

高校生アンケート調査

高校生アンケート調査

<調査の概要>

1. 調査の目的

本調査は第2次総合計画の策定にあたって、若年層の「現在・将来の居住」、「将来の進路」、「市のまちづくり」についての意向を把握し、計画に反映するために実施。

2. 実施期間

平成28年5月

3. 調査対象者

岐阜県立海津明誠高等学校 3年生 179人

4. 調査方法

各教室において配布・回収

5. 回収状況

有効回収率 98.3% (176票/179票) ※生徒3人は調査当日欠席

6. 設問内容

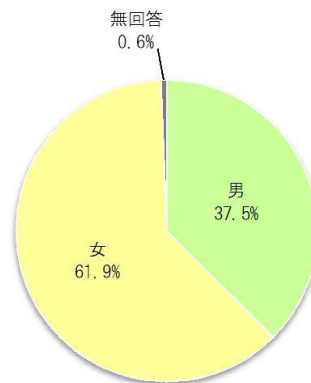
- ・回答者の属性（問1、問2）
- ・海津市での居住（問3、問4）
- ・将来の居住、進学、就職に対する考え（問5～問14）
- ・就職観（問15）
- ・海津市のまちづくりについて（問16、問17）
- ・自由意見（問18）

回答者: 176人

あなた自身についてご質問します。あてはまる番号に○をつけてください。

問1 あなたの性別は、次のうちどちらですか。

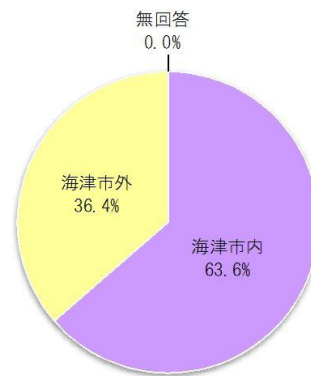
選択肢	件数	比率
1. 男	66	37.5%
2. 女	109	61.9%
無回答	1	0.6%
計	176	100.0%



- 性別は、6:4で「女」が「男」より多かった。

問2 あなたはどちらにお住まいですか。

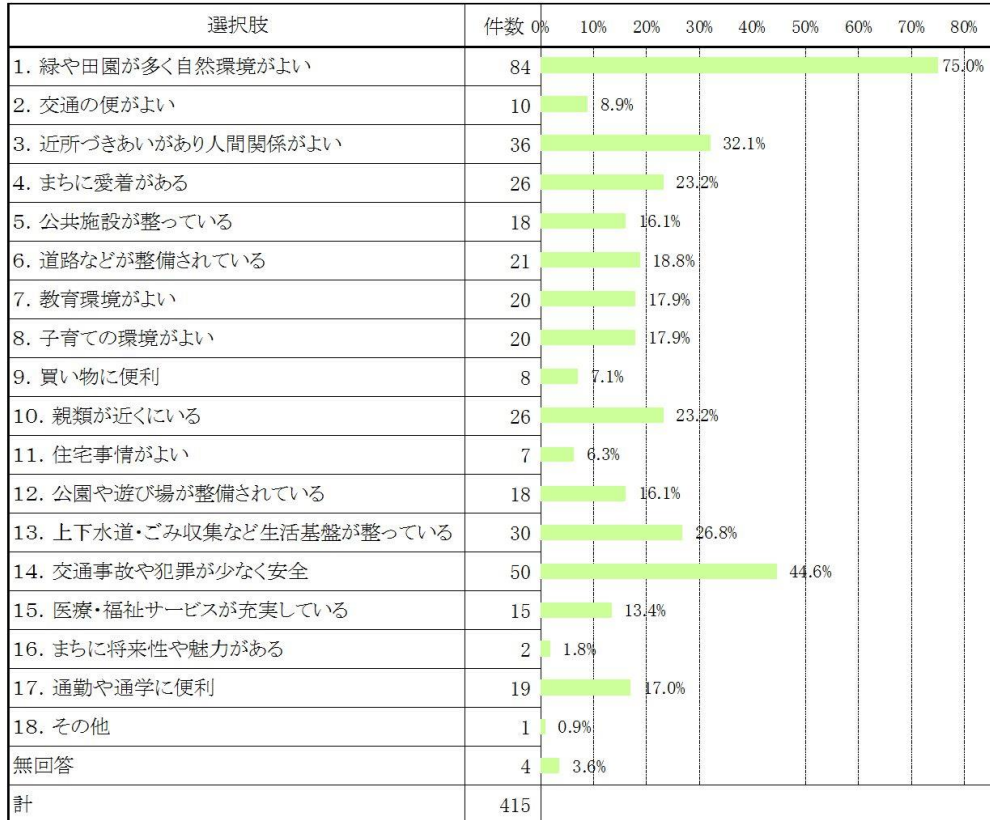
選択肢	件数	比率
1. 海津市内	112	63.6%
2. 海津市外	64	36.4%
無回答	0	0.0%
計	176	100.0%



- 居住地は、「海津市内」が約6割以上を占めている。

海津市での居住についてご質問します。あてはまる番号に○をつけてください。

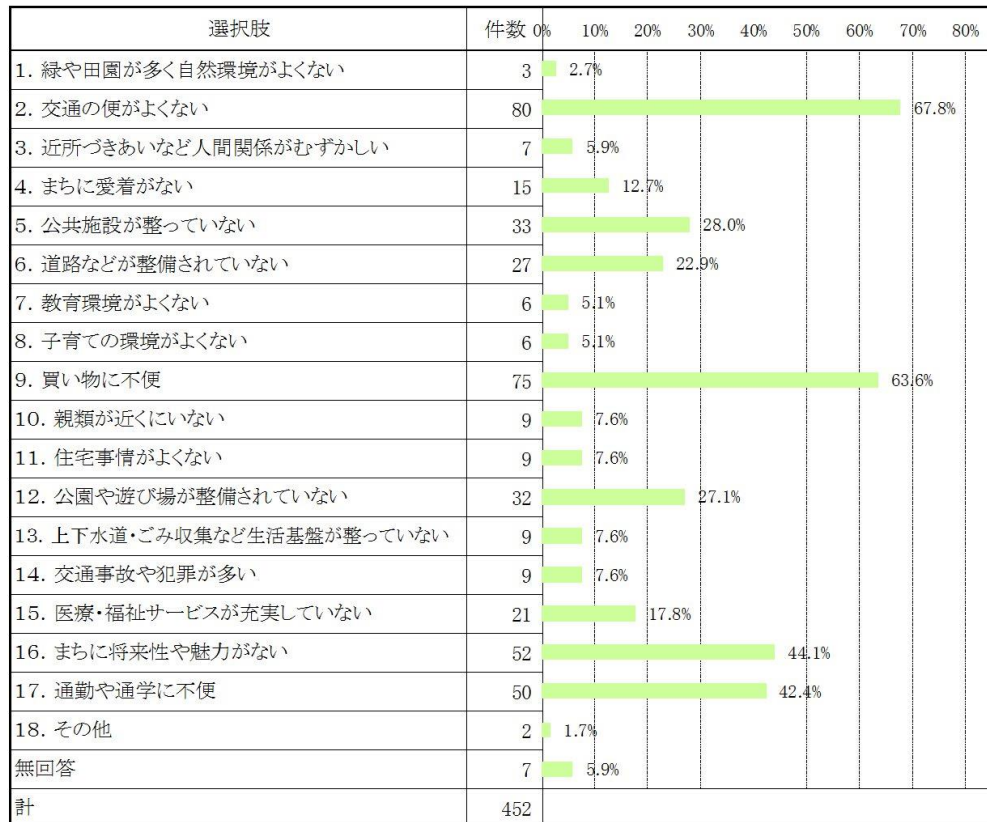
問3 海津市にお住まいになって、「住みやすい」と思うところはどこですか。次の中からあてはまるものを全て選んで○をつけてください。



集計母数112名

- 海津市の住みやすさは、「緑や田園が多く自然環境がよい」が7割以上を占め目立って高い割合となっている。次いで「交通事故や犯罪が少なく安全」「近所づきあいがいい人間関係がよい」の順となっている。

問4 海津市にお住まいになって、“住みにくい”と思うところはどこですか。次の中からあてはまるものを全て選んで○をつけてください。



集計母数112名

- 海津市の住みにくさは、「交通の便が良くない」「買い物に不便」がそれぞれ6割以上と高い割合を占めた。次いで、「まちに将来性や魅力がない」「通勤や通学に不便」の順となっている。

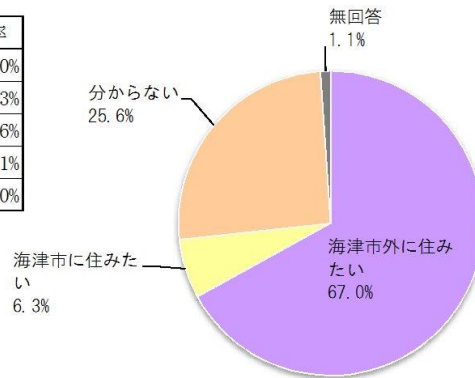
将来の考えについてご質問します。あてはまる番号に○をつけてください。

問5 あなたは将来的にどこに住みたいですか？次の中から1つ選んで○をつけてください。

選択肢	件数	比率
1. 海津市外に住みたい	118	67.0%
2. 海津市に住みたい	11	6.3%
3. 分からない	45	25.6%
無回答	2	1.1%
計	176	100.0%

参考：市内居住者の集計

	件数	比率
1.海津市外	74	66.1%
2.海津市	11	9.8%
3. 分からない	25	22.3%
無回答	2	1.8%
計	112	100.0%



- 将来的に住みたい場所としては、「海津市外に住みたい」が7割近くを占め、「海津市に住みたい」は1割に満たなかった。

問6 問5で「海津市外に住みたい」を選んだ理由について教えてください。次の中から2つ選んで○をつけてください。

選択肢	件数	0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%
1. 都会での生活に興味があるから	38(26)					32.2%		(35.1%)
2. イベントや遊ぶ場所が少ないから	65(41)						55.1%	(55.4%)
3. 買い物などが不便だから	48(29)					40.7%		(39.2%)
4. 希望する就職先が無いから	37(23)					31.4%		(31.1%)
5. 親元を離れて生活したいから、自立したいから	21(14)					17.8%		(18.9%)
6. 近所付き合いが嫌だから	2(1)					1.7%		(1.4%)
7. 周りに同世代の若者が少ないから	0(0)					0.0%		(0.0%)
8. その他	6(2)					5.1%		(2.7%)
無回答	3(2)					2.5%		(2.7%)
計	220(138)							

※件数の()内、グラフの下段は、市内居住者の集計

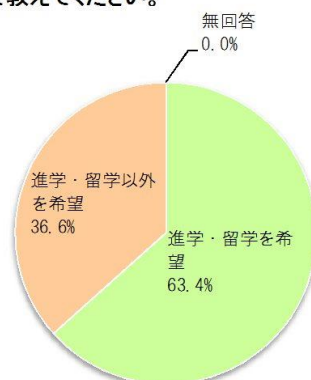
集計母数118名
(集計母数74名)

- 「海津市外に住みたい」を選んだ理由としては、「イベントや遊ぶ場所が少ないから」「買い物などが不便だから」「都会での生活に興味があるから」「希望する就職先が無いから」の順となっている。

問7 あなたが希望する今後の進路(進学・就職)について教えてください。

選択肢	件数	比率
1. 進学・留学を希望	111	63.4%
2. 進学・留学以外を希望	64	36.6%
無回答	0	0.0%
計	175	100.0%

複数回答による集計除外1名

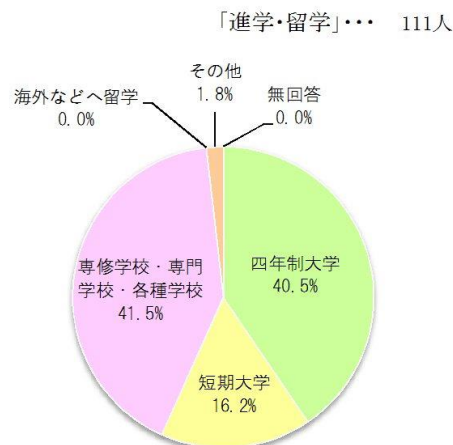


- 今後の進路としては、「進学・留学を希望」が6割以上を占めた。

問7で「進学・留学」を希望すると答えた方にご質問します。

問8 具体的な進路(予定・希望を含む)について教えてください。次の中から1つ選んで○をつけてください。

選択肢	件数	比率
1. 四年制大学	45	40.5%
2. 短期大学	18	16.2%
3. 専修学校・専門学校・各種学校	46	41.5%
4. 海外などへ留学	0	0.0%
5. その他	2	1.8%
無回答	0	0.0%
計	111	100.0%



- 具体的な進路(予定・希望を含む)としては、「四年制大学」「専修学校・専門学校・各種学校」がそれぞれ4割以上を占めた。

問9 進学理由について教えてください。次の中から2つ選んで番号に○をつけてください。

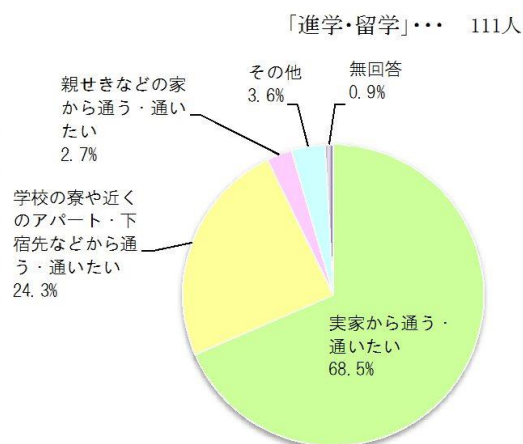
選択肢	件数	0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%
1. より専門的な知識や技術を身につけたいから、資格をとりたいから	71							64.0%	
2. 進学先で自分のやりたいことを見つけたいから、将来を考えたいから	68							61.3%	
3. 進学すれば就職や給料の面で有利だから、学歴などを身に付けたいから	33				29.7%				
4. 新しい友人などの知り合いをつくりたいから	15		13.5%						
5. 実家を離れたいから、家庭事情から	2	1.8%							
6. その他	3	2.7%							
無回答	0	0.0%							
計	192								

集計母数111名

- 進学理由としては、「より専門的な知識や技術を身につけたいから、資格をとりたいから」「進学先で自分のやりたいことを見つけたいから、将来を考えたいから」がそれぞれ6割以上を占めた。

問10 進学後の通学(予定・希望を含む)について教えてください。次の中から1つ選んで○をつけてください。

選択肢	件数	比率
1. 実家から通う・通いたい	76	68.5%
2. 学校の寮や近くのアパート・下宿先などから通う・通いたい	27	24.3%
3. 親せきなどの家から通う・通いたい	3	2.7%
4. その他	4	3.6%
無回答	1	0.9%
計	111	100.0%

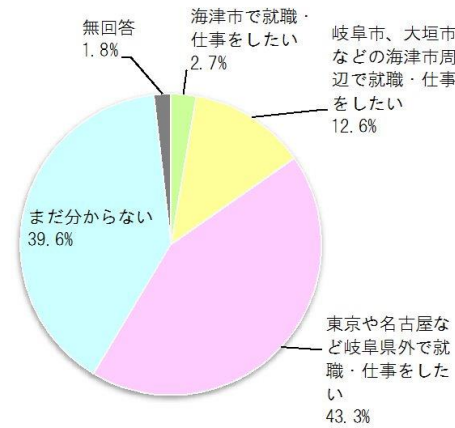


- 進学後の通学は、7割近くが「実家から通う・通いたい」と回答した。

問11 進学先の卒業後について教えてください。次の中から1つ選んで○をつけてください。

「進学・留学」・・・ 111人

選択肢	件数	比率
1. 海津市で就職・仕事をしたい	3	2.7%
2. 岐阜市、大垣市などの海津市周辺で就職・仕事をしたい	14	12.6%
3. 東京や名古屋など岐阜県外で就職・仕事をしたい	48	43.3%
4. まだ分からない	44	39.6%
無回答	2	1.8%
計	111	100.0%



参考: 市内居住者の集計

選択肢	件数	比率
1. 海津市で就職・仕事をしたい	3	4.1%
2. 岐阜市、大垣市などの海津市周辺で就職・仕事をしたい	7	9.5%
3. 東京や名古屋など岐阜県外で就職・仕事をしたい	37	50.0%
4. まだ分からない	26	35.1%
無回答	1	1.4%
計	74	100.0%

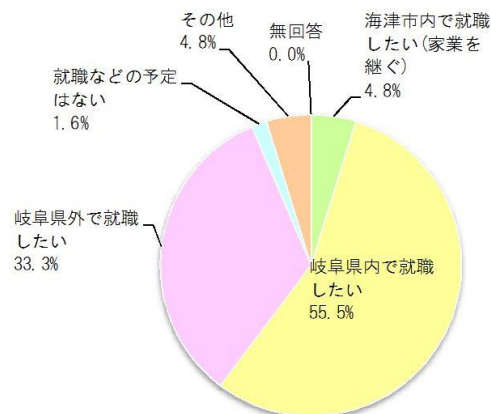
- 卒業後については、「東京や名古屋など岐阜県外で就職・仕事をしたい」が4割を超えてもっとも割合が高かったが、「まだ分からない」も4割近くあった。

問7で「進学・留学以外」を希望すると答えた方にご質問します。

問12 具体的な進路(予定・希望を含む)について教えてください。次の中から1つ選んで○をつけてください。

「進学・留学以外」・・・ 64人

選択肢	件数	比率
1. 海津市内で就職したい(家業を継ぐ)	3	4.8%
2. 岐阜県内で就職したい	35	55.5%
3. 岐阜県外で就職したい	21	33.3%
4. 就職などの予定はない	1	1.6%
5. その他	3	4.8%
無回答	0	0.0%
計	63	100.0%



参考: 市内居住者の集計

複数回答による集計除外1名

選択肢	件数	比率
1. 市内で就職	3	8.3%
2. 県内で就職	16	44.4%
3. 県外で就職	16	44.4%
4. 就職などの予定なし	0	0.0%
5. その他	1	2.8%
計	36	100.0%

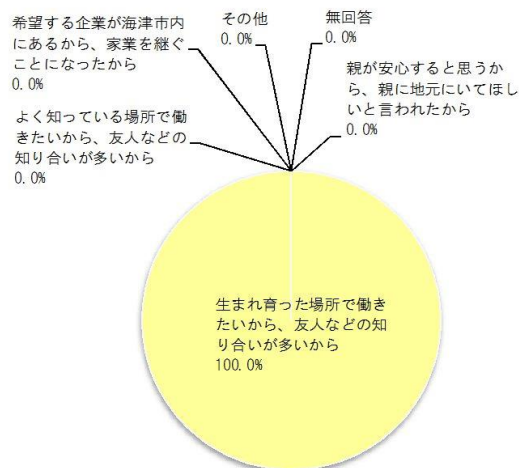
複数回答による集計除外1名

- 進学・留学以外の具体的な進路としては、「岐阜県内で就職したい」が半数を超えてもっとも割合が高かったが、「岐阜県外で就職したい」も3割以上あった。

問13 問12で「海津市内で就職したい(家業を継ぐ)」を選んだ理由を教えてください。次の中から1つ選んで○をつけてください。

選択肢	件数	比率
1. 親が安心すると思うから、親に地元においてほしいと言われたから	0	0.0%
2. 生まれ育った場所で働きたいから、友人などの知り合いが多いから	3	100.0%
3. よく知っている場所で働きたいから、友人などの知り合いが多いから	0	0.0%
4. 希望する企業が海津市内にあるから、家業を継ぐことになったから	0	0.0%
5. その他	0	0.0%
無回答	0	0.0%
計	3	100.0%

「海津市内で就職したい(家業を継ぐ)」… 3人

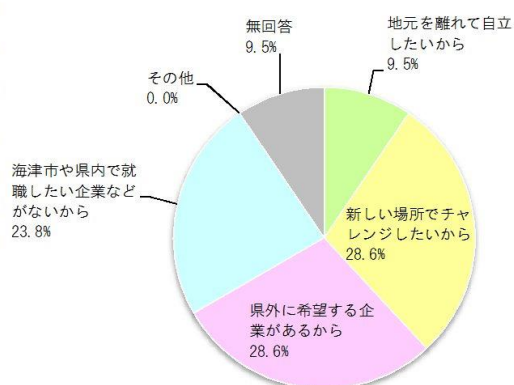


- 「海津市内で就職したい(実家を継ぐ)」と回答した3人は、全員が「生まれ育った場所で働きたいから、友人などの知り合いが多いから」と回答した。

問14 問12で「岐阜県外で就職したい」を選んだ理由を教えてください。次の中から1つ選んで○をつけてください。

選択肢	件数	比率
1. 地元を離れて自立したいから	2	9.5%
2. 新しい場所でチャレンジしたいから	6	28.6%
3. 県外に希望する企業があるから	6	28.6%
4. 海津市や県内で就職したい企業などがないから	5	23.8%
5. その他	0	0.0%
無回答	2	9.5%
計	21	100.0%

「岐阜県外で就職したい」… 21人



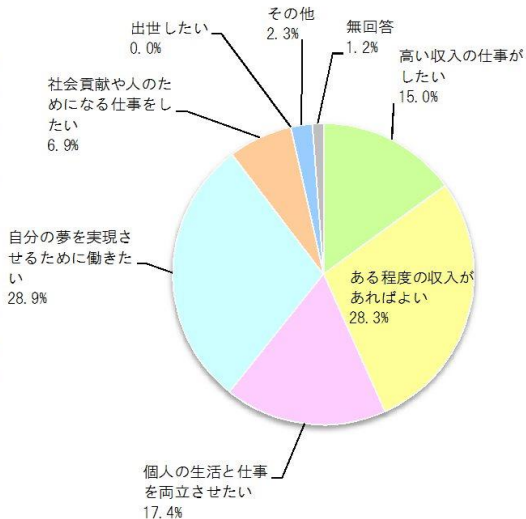
- 「岐阜県外で就職したい」理由としては、「新しい場所でチャレンジしたいから」「県外に希望する企業があるから」「海津市や県内で就職したい企業などがないから」がそれぞれ2割以上の回答を得た。

将来の職業についてご質問します。あてはまる番号に○をつけてください。

問15 あなたの就職観に最も近いものはどれですか？次の中から1つ選んで○をつけてください。

選択肢	件数	比率
1. 高い収入の仕事がしたい	26	15.0%
2. ある程度の収入があればよい	49	28.3%
3. 個人の生活と仕事を両立させたい	30	17.4%
4. 自分の夢を実現させるために働きたい	50	28.9%
5. 社会貢献や人のためになる仕事をしたい	12	6.9%
6. 出世したい	0	0.0%
7. その他	4	2.3%
無回答	2	1.2%
計	173	100.0%

複数回答による集計除外3名

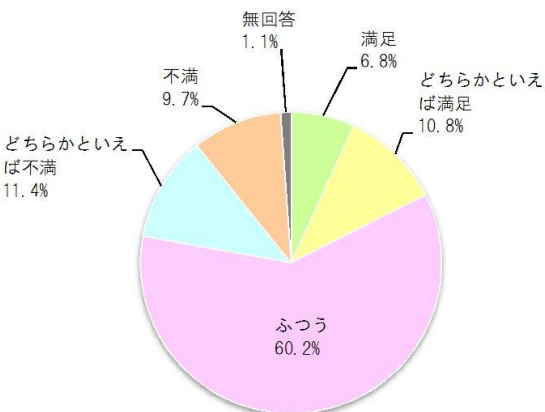


- 就職観としては、「自分の夢を実現させるために働きたい」がもっとも割合が高く、次いで「ある程度の収入があればよい」「個人の生活と仕事を両立させたい」「高い収入の仕事がしたい」の順となった。

海津市のまちづくりについてご質問します。

問16 海津市のまちづくりの取り組みについて、総合的にどのように思いますか。次の中から1つ選んで○をつけてください。

選択肢	件数	比率
1. 満足	12	6.8%
2. どちらかといえば満足	19	10.8%
3. ふつう	106	60.2%
4. どちらかといえば不満	20	11.4%
5. 不満	17	9.7%
無回答	2	1.1%
計	176	100.0%



- まちづくりの取り組みについては、6割以上が「普通」と回答し、「満足」「どちらかといえば満足」「どちらかといえば不満」「不満」はそれぞれ1割程度だった。

問17 今後、海津市のまちづくりに必要なことは何だと思いますか。(重要度の高いと思うものから順に3つまで選び、順位欄に番号を記入)

第1位 第2位 第3位 第4位 第5位

選択肢	1番目		2番目		3番目	
	件数	比率	件数	比率	件数	比率
1. 住環境の整備による快適で暮らしやすい環境づくり	36	20.5%	12	6.8%	14	8.0%
2. 子どもを産み育てやすい環境づくり	15	8.5%	26	14.8%	6	3.4%
3. 防災、防犯、交通安全対策による安心・安全なまちづくり	14	8.0%	13	7.4%	18	10.2%
4. 観光施設の整備等による賑いや交流の創出	13	7.4%	18	10.2%	12	6.8%
5. 企業活動支援や企業誘致の促進によるまちの活力づくり	3	1.7%	4	2.3%	2	1.2%
6. 中心市街地の活性化	32	18.2%	19	10.8%	12	6.8%
7. 徒歩や自転車です生活できるコンパクトなまちづくり	14	8.0%	14	8.0%	7	4.0%
8. 若者の定住、就業を促進する環境づくり	12	6.8%	19	10.8%	14	8.0%
9. 高齢者や障害のある人が暮らしやすい福祉の拡充	8	4.5%	5	2.8%	15	8.5%
10. だれもが元気に暮らせる保健・医療・健康づくりの充実	11	6.2%	12	6.8%	9	5.1%
11. 本市固有の自然、歴史、景観、文化資産を活かしたまちの魅力づくり	1	0.6%	2	1.1%	8	4.5%
12. 地産地消の推進や食料の安定供給のための農業の振興	3	1.7%	0	0.0%	8	4.5%
13. 環境の保全や物資のリサイクルなどに配慮したまちづくり	1	0.6%	1	0.6%	5	2.9%
14. 生涯学習、地域スポーツなど多様な市民活動の活性化	2	1.1%	3	1.7%	4	2.3%
15. 未来の海津市を担う時代に対応した人材育成のための教育環境づくり	2	1.1%	7	4.0%	9	5.1%
16. 男女が等しく社会参加でき、個性と能力を発揮することができる環境づくり	3	1.7%	1	0.6%	6	3.4%
17. 国際感覚あふれるまちづくり	3	1.7%	3	1.7%	8	4.5%
18. ふれあいや連帯感があるコミュニティ活動の活性化	0	0.0%	5	2.8%	6	3.4%
19. 市民と行政の協働によるまちづくり	0	0.0%	6	3.4%	6	3.4%
無回答	3	1.7%	6	3.4%	7	4.0%
計	176	100.0%	176	100.0%	176	100.0%

- 重要度ごとに上位となった項目は、重要度1番目は「住環境の整備による快適で暮らしやすい環境づくり」「中心市街地の活性化」「子どもを産み育てやすい環境づくり」、重要度2番目は「子どもを産み育てやすい環境づくり」「中心市街地の活性化」「若者の定住、就業を促進する環境づくり」、重要度3番目は「防災、防犯、交通安全対策による安心・安全なまちづくり」「高齢者や障害のある人が暮らしやすい福祉の拡充」「住環境の整備による快適で暮らしやすい環境づくり」「若者の定住、就業を促進する環境づくり」となった。

【総合】1番目・2番目・3番目を複数回答として集計した。

選択肢	件数	0%	10%	20%	30%	40%
1. 住環境の整備による快適で暮らしやすい環境づくり	62					35.2%
2. 子どもを産み育てやすい環境づくり	47					26.7%
3. 防災、防犯、交通安全対策による安心・安全なまちづくり	45					25.6%
4. 観光施設の整備等による賑いや交流の創出	43					24.4%
5. 企業活動支援や企業誘致の促進によるまちの活力づくり	9					5.1%
6. 中心市街地の活性化	63					35.8%
7. 徒歩や自転車で生活できるコンパクトなまちづくり	35					19.9%
8. 若者の定住、就業を促進する環境づくり	45					25.6%
9. 高齢者や障害のある人が暮らしやすい福祉の拡充	28					15.9%
10. だれもが元気に暮らせる保健・医療・健康づくりの充実	32					18.2%
11. 本市固有の自然、歴史、景観、文化資産を活かしたまちの魅力づくり	11					6.3%
12. 地産地消の推進や食料の安定供給のための農業の振興	11					6.3%
13. 環境の保全や物資のリサイクルなどに配慮したまちづくり	7					4.0%
14. 生涯学習、地域スポーツなど多様な市民活動の活性化	9					5.1%
15. 未来の海津市を担う時代に対応した人材育成のための教育環境づくり	18					10.2%
16. 男女が等しく社会参加でき、個性と能力を発揮することができる環境づくり	10					5.7%
17. 国際感覚あふれるまちづくり	14					8.0%
18. ふれあいや連帯感があるコミュニティ活動の活性化	11					6.3%
19. 市民と行政の協働によるまちづくり	12					6.8%
無回答	3					1.7%
計	515					

集計母数176名

- 重要度の1番目から3番目の項目としては、「中心市街地の活性化」「住環境の整備による快適で暮らしやすい環境づくり」の割合が高く、次いで「子どもを産み育てやすい環境づくり」「防災、防犯、交通安全対策による安心・安全なまちづくり」「若者の定住、就業を促進する環境づくり」の順となった。